

北海道 PCB 処理事業所 長期処理計画について

平成 29 年 12 月末時点での処理計画は以下のとおりです。

1. 当初施設（変圧器、コンデンサー等）

(1) 処理対象 PCB 廃棄物

（平成 29 年 8 月 31 日時点の登録量、見込み量から H29 年度以降の処理対象物量を想定）

① 北海道事業エリアの処理対象物のうち北海道 PCB 処理事業所で処理するもの

- (ア) 大型トランス 264 台
- (イ) 小型トランス 680 台
- (ウ) 車載トランス 89 台
- (エ) コンデンサー 12,925 台

② 北海道事業エリアの処理対象物のうち他事業所で処理するもの

- (ア) 大型トランス 4 台（H28 年度に 1 台処理実績有り。総合計では 5 台となる。）
- (イ) コンデンサー（炭化品）500 台

(2) 処理計画

	計画的処理完了期限→						事業終了準備期間→			合計
	H29年度見込み	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	
大型トランス	73	76	80	35						264
同上(東京事業所へ)	2	1	1							4
小型トランス	138	200	187	155						680
車載トランス	43	40	6							89
コンデンサー	4,077	3,000	3,000	1,500	1,000	348				12,925
同上(大阪事業所へ)	97	140	140	123						500

2. 増設施設（安定器及び汚染物等）

(1) 処理対象 PCB 廃棄物

（平成 29 年 12 月 31 日時点の登録量から H29 年度以降の処理対象物量を想定）

① 北海道事業エリアの処理対象物

- (ア) 安定器及び汚染物等 949 トン

② 他事業エリアの処理対象物のうち北海道 PCB 処理事業所で処理するもの

- (ア) 東京事業エリアの安定器及び汚染物等 3,860 トン

(2) 処理計画

区分	計画的処理完了期限→ 事業終了準備期間→									合計
	H29年度見込み	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	
安定器及び汚染物等	347	350	252	0	0	0	0	0	0	949
同上(東京エリアから)	552	500	598	850	750	500	110	0	0	3,860
合計	899	850	850	850	750	500	110	0	0	4,809

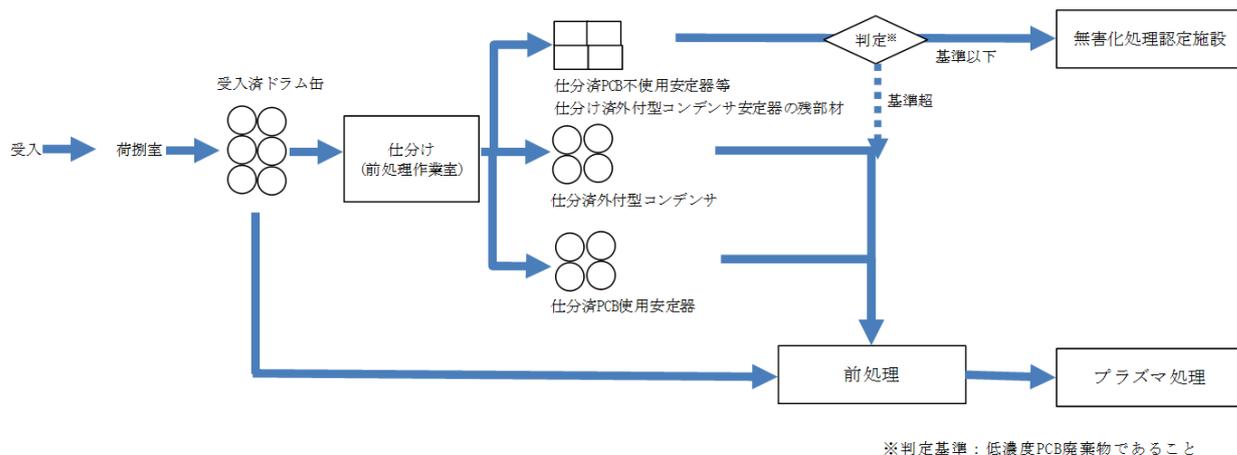
※ なお、上記のほか、今後、掘り起しにより発生すると見込まれる PCB 廃棄物への対応や、処理が困難な PCB 廃棄物に関する技術的な検討についても行っていく予定。

3 その他

現在、適正処理の推進に向けて、来年度からの事業所での廃安定器の仕分け開始を目指し、必要な設備改造、人員体制構築等必要な仕組みづくりの検討を進めているところ。

J E S C Oとしては、事業所内での仕分けを実施することにより、J E S C O処理対象物の適正化を図ることとし、ひいてはP C B廃棄物の早期処理の実現を目指す。

なお、北九州P C B処理事業所においては昨年 12 月中旬から暫定的に事業所内仕分けを開始している。



事業所内での仕分けフロー (案)